



岐阜県版
第409号
2024年8月15日

治安維持法同盟
岐阜県本部
〒500-8879
岐阜市徹明通7-13
岐阜県教育会館308号室
Tel 058-252-5366
振替00840-2-88638

私たちの運動の基本 ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 二、国は、戦前の治安維持法が、人道に反する悪法である事を認めること
- 三、国は、治安維持法の犠牲者に、謝罪と賠償をおこなう事

酷暑のなか県大会が関市アピセにて7月28日開かれ成功しました。

交告ちづ副会長の開会宣言に始まり物故者への黙祷・会長挨拶に続き岡崎事務局次長の全国大会報告、松本議長選出、山田・小澤副会長の役員選考委員任命と続き議事に入りました。

活動報告・活動方針を岡崎和子氏、会計決算報告・予算案提案を森島正司氏、会計監査報告を太田郁氏の各報告の後、討論に入りました。討論では、活潑な意見が続出しました。

※日本の現状

※中嶋会計担当者の急死混乱からの立て直しの困難さ。

※赤星事務局長の急死から県道盟の立て直し。

特に老齢化対策としては県道盟に青年部

を組織することの重要性が強調されました。

次期役員体制では、会長の高齢化による交代の希望が出され、健康上の問題で無視できない現状から岡崎和子中央理事を岐阜県同盟の会長代行に任命しました。

「再び戦争と暗黒政治を許さない」の旗印を掲げる我が同盟は、「憲法解釈を変える自公政権は政治的モラルさえ失つていて」との指摘に全面的に賛意を表します。

森友・加計・桜を見る会にみられる政治の私物化、検察人事への介入、日本学術会議の会員任命拒否、防衛省・自衛隊の組織ぐるみの違反・不正も明るみに出、そして沖縄への強権政治です。

正に、ドンヅマリの自公政治です。憲法制定77年、憲法守れ・生かせの闘いが社会を変えます。その土台を固めるために、黄色い署名・意見書決議・同盟員の拡大に全力を挙げようではありませんか。

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟岐阜県本部 第37回県本部大会活動報告・運動方針

一一一四年七月28日(日)午前一〇時～一二時 アピセ閣

目 次

一、はじめに
二、「ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために」の闘いを

岐阜県本部の活動方針

- 三、「ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために」の闘いを
- 一、はじめに
 - 二、2023年度活動の総括と報告
 - ① 10500筆の署名と460人の会員を
 - ② 地方議会への陳情・請願活動
 - ③ 市民と連帯した運動の展開を
 - ④ 女性部の活動
 - ⑤ 東海ブロック交流会
 - ⑥ 歴史探訪・先覚者の発掘・顕彰活動
 - ⑦ 同盟の理論誌「治安維持法と現代」
 - 普及と学習活動
 - 8.15終戦記念宣伝行動
 - 年末名刺広告の取り組み
 - 役員組織体制の確立と強化
 - ⑧ 8.15終戦記念宣伝行動
 - ⑨ 年末名刺広告の取り組み
 - 四、2023年度決算報告及び2024年度予算報告について
 - 五、2022年度活動の総括と報告

一、はじめに

我が県国賠同盟の懸案である高齢化が深刻な状況にあることは、中嶋・赤星常任委員の逝去により現実の困難が証明しましたが、さらに村瀬常任委員の逝去でより深刻さを現しました。若い会員・幹部の育成を急務としています。

さらに、東西支部の再建・飛騨地域への組織拡大と課題の解決に応えていない現状をいかに克服するかは県同盟の急務であります。

情勢について

しんぶん赤旗によつて暴露された裏金問題は、自公政権の腐敗状況の救いがない現状を現わしています。五月の東京・島根・長崎の補選は市民と野党の共闘が自公政権を終わらせる展望を、全国民に指示示しました。

自衛隊をアメリカの支配下におき、「戦争できる国」から「戦争する国」と一文字に突つ走る岸田自公政権を打倒し、憲法の主権在民・恒久平和・生活擁護の日本を確立する。そのため、治安維持法犠牲者こそ眞の愛國者だったことを掲げる我が同盟の目的実現の展望を、現実のものになってきています。この情勢に確信を持つて黄色い署名をさらに広げると共に、若者の中への仲間作りにいつそう奮闘しようではありませんか。

① 一〇五〇〇筆の国賠署名、全県で

460人の会員を 全国2万人の会員拡大めざす活動の

総括と到達点

国賠署名・会員の動向

| 支部 | 個人署名 | | 団体署名 | | 会員 | |
|-------|-------|------|------|-----|-----|-----|
| | 目標 | 達成数 | 目標 | 達成数 | 目標 | 達成数 |
| 岐阜 | 3000 | 560 | 200 | 42 | 180 | 123 |
| 中濃 | 3000 | 1415 | 100 | 72 | 115 | 106 |
| 東濃西 | 2200 | | 100 | | 80 | 63 |
| 恵那 | 1500 | | 100 | | 40 | 22 |
| 西濃 | 800 | 310 | 50 | 1 | 45 | 42 |
| 飛騨・下呂 | | | | | 10 | 7 |
| その他 | | | | | | 0 |
| 合計 | 10500 | 2285 | 550 | 115 | 470 | 363 |

(1)署名数の目標達成率は、県全体では22.85%で昨年度を上回り22%になりました。

各地域の担当役員と連絡を取り合って取り

組みを進めたり、民主団体主催の集会などに申し入れ、積極的に宣伝・署名を広げる活動を続けたり等で成果が上がりました。会員一人に署名のお願いと署名用紙・返信用封筒を入れ送る活動も続けています。

(2)そして、今年度は、5月15日の国会請願行動に県代表を1名送ることが出来ました。全国で集められた署名数は、11万1000筆余、紹介議員は111名になりました。代表は、限られた時間の中で国賠の意義と思いをしっかりと伝えました。この行動を通して、議員の対応の差を見ると、署名数なども含めもっと私達の力を付けていかねばと感じました。

(3)会員拡大の課題は、東西支部、恵那支部、飛騨支部の組織再建と合わせて常任理事会で話し合ってきました。再建の中心になって進める人を探し出すように名前を出し合い、担当者を決めて報告を聞きました。しかし、なかなか連絡が取れなかつたり、各地域での話し合いが進まぬ事があつたりと困難が続いています。中央本部から、6月の全国大会をめざす「特別月間」が設けられましたが、拡大目標に個人名を挙げても十分な成果をあげられませんでした。一方、高齢化が進み、亡くなる会員も少しずつ増えています。会員拡大をめざして、次世代への働きかけを計画し、各支部の特色を生かした取り組みが必要です。

②地方議会への陳情・請願活動

岐阜市議会議員への働きかけを続け、残念ながら12対28で否決されましたが、議会各派からの賛同が少しづつ広がりました。

③市民と連帯した運動の展開を映画「わが青春つきとも・伊藤千代子の生涯」の成功を

県本部で引き続いて上映資金等援助相談しています。23年9月には、岐阜市の「ささやり」にて3回上映が行なわれ、95名が鑑賞し、多くの人々に感動を与えました。(静岡県同盟では、引き続いて上映活動に取り組んでおり、若い世代の会員も増えています)

④女性部の活動

昨年10月29日から30日、全国女性交流集会が愛知県蒲郡市で開催されました。県の中央常任委員1名と西濃支部から3名参加しました。各分野で活動している女性達が生き生きと報告しました。

今年3月2日には、5年振りに県の女性部総会が開かれました。記念講演は、琉球大学名誉教授の佐藤清吾氏で、「南西諸島の軍事化と沖縄の今」を詳しく分かりやすく語られました。伊舞木座の寺倉和子さんのコンサートも好評でした。

⑤東海ブロック交流会

昨年10月23日から24日、三重県湯の山温泉にて開催されました。西濃1名、岐阜3名、中濃6名が参加しました。全体参加者は68名。

四日市市革新懇話人の大野氏が、戦前・戦中に少年期を送った経験から軍国少年から憲法少年に生まれ変わった体験、戦争を止める静岡の青年の国賠同盟への理解を広めていきました。いとの発言に希望がふくらみました。

⑥歴史探訪・先覚者の発掘・顕彰活動・県版「不届」編集・発行

県版「不届」は毎月発行され活動交流、学習に活用されました。各集会や会議に参加した記事や各地域の取り組みの様子が掲載されます。さらに多くの方に進んで原稿を寄せてほしいとの要望があります。

コロナ禍や高齢化による活動低下がありましたが、西濃支部は、八百津町の杉原千畝記念館を訪ねました。また、同支部ではガザ支援緊急上映会を国民救援会との共同で12月20日に2回上映しましたが、60名の入場者があり、カンペ6万8千円余は寄付しました。また、岐阜市でも同映画の上映会がありました。先駆者の発掘・顕彰活動は取り組みが十分進みませんでしたが、岐阜支部は「第25回3・15大弾圧記念学習会」を実施しました。中濃支部は、講演会を開きました。

⑦同盟の理論誌「治安維持法と現代」普及と学習活動

45冊冊を普及目標にしましたが、40冊になりました。学習会は、年2回の計画を呼びかけましたが、岐阜支部で月1回実施しました。

| 「治安維持法と現代」誌 | | |
|-------------|------|------|
| 支部名 | 22年度 | 23年度 |
| 岐阜 | 20 | 20 |
| 中濃 | 10 | 10 |
| 東濃西 | | 0 |
| 恵那 | 5 | 3 |
| 西濃 | 7 | 7 |
| 飛驒・下呂 | | |
| その他 | | |
| 合計 | 42 | 40 |

⑧8・15終戦記念宣伝行動

例年通り岐阜支部では、チラシ撒宣伝行動をしました。また、中濃支部では、1000部の新聞折り込みや関市などのポスティングなどにとりくみました。

⑨年末名刺広告の取り組み

| 名刺広告 | | |
|------|------|------|
| 支部名 | 22年度 | 23年度 |
| 岐阜 | 18 | 17 |
| 中濃 | 7 | 7 |
| 東濃西 | | 1 |
| 恵那 | | 1 |
| 西濃 | 7 | 7 |
| 下呂 | | |
| その他 | | |
| 合計 | 32 | 33 |

今年度44枚掲載されており、現在事務局で調査中です。

三、「ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために」の闘いを岐阜県本部の活動方針

②地方議会への陳情・請願活動

先進県の経験を学び、各地で取り組み出来るよう働きかけをしましょう。まずは、市町村議員から始めましょう。

③支部建設を進めましょう

県全体で上映資金等援助相談します。少人数・小会場でも各支部で上映計画を立て、ひき続

大会で特に強調された事柄を取り入れました。
①6600筆の国賠署名・全県で
「請願署名は、犠牲者の国家賠償法をつくる
460人の会員を

| 支部 | 個人署名 | 団体署名 | 会員 |
|-------|------|------|-----|
| | 目標 | 目標 | 目標 |
| 岐阜 | 3000 | 200 | 160 |
| 中濃 | 3000 | 100 | 120 |
| 東濃西 | 0 | 0 | 63 |
| 恵那 | 0 | 0 | 22 |
| 西濃 | 600 | 30 | 48 |
| 飛驒・下呂 | | | 7 |
| その他 | | | |
| 合計 | 6600 | 330 | 420 |

き取り組みましょう。

④女性部活動

女性が各支部の役員として参加し、子育て世代への働きかけを考えましょう。昨年に引き続き今年も全国女性交流集会が10月29日、30日に開かれます。今年も愛知県蒲郡です。学びの場でもあり、活力の源ともなります。声を掛け合って参加しましょう。

今年も岐阜県母親大会、日本母親大会がひらかれます。積極的に参加しましょう。

⑤東海ブロック交流会

今年は愛知県蒲郡で9月8日、9日に開かれます。学習・活動の経験交流・親睦が目標です。「学習テキスト」も学べます。誘い合って多数参加しましょう。

⑥同盟の理論誌「治安維持法と現代」普及と・学習活動

| 支部名 | 24年度 |
|-------|------|
| 岐阜 | 20 |
| 中濃 | 10 |
| 東濃西 | 0 |
| 恵那 | 3 |
| 西濃 | 7 |
| 飛騨・下呂 | |
| その他 | |
| 合計 | 40 |

各支部で学習活動をすすめましょう。「学習テキスト」も活用しましょう。

⑦8・15終戦記念宣伝行動

例年通り取り組みます。中央本部からのビラ

⑧年末名刺広告の取り組み

名刺広告

| 支部名 | 24年度 |
|-----|------|
| 岐阜 | 17 |
| 中濃 | 8 |
| 東濃西 | 6 |
| 恵那 | 4 |
| 西濃 | 5 |
| 下呂 | |
| その他 | 3 |
| 合計 | 43 |

(別紙提案)

四、2023年度決算報告について

助言者の武藤清吾氏（琉球大学名誉教授・岐阜県平和委員会常任理事）の基調報告から始まりました。ガザはイスラエルと海に挟まれ逃げようがない「天井のない監獄」と言われています。沖縄も四方が海に囲まれ逃げようありません。沖縄では今、台湾有事に向けてミサイル配備が進んでいます。台湾有事に米国が関与すれば真っ先に沖縄が標的になる。ガザの映像は明日の沖縄の姿かも知れない。

「アーモア沖縄・命どう宝の会」はガザ地区・イスラエル紛争の即時停戦と沖縄の戦争準備も活用しましょう。

⑨県の役員組織体制の確立と強化

2024年度年度 県本部役員

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 会長 | 片桐 義之 |
| 副会長 | 交告 ちづ、山田 弘、笠田 参三、 |
| 事務局長 | 高井 節子（中央常任委員） |
| 事務局次長 | 岡崎 和子（中央理事・会長代行）、 |
| 常任理事 | 森島 正司（会計）、 松本 興司、河田 博 |
| 会計監査 | 塙田 歳春、館林 辰郎、 |
| 顧問 | 川上 朝史 染矢 君子、太田 郁、 柴田 一雄、宇野 美代子 |

六月三〇日恵那文化センターで行なわれた母親大会に六八一名参加しました。

会場に着くと次々と参加して来る人に中濃の交告さんと安藤さんが署名を集めていました。私もそれに参加しました。

分科会は一二分会があり、みんな興味のあるものばかりでしたが、同盟は「戦争する国にしていいですか？平和運動のこれから」に参りました。

第六六回岐阜県母親大会に参加して

岐阜支部 上野 美美

中止を求める声明を出しています。玉木デーラー知事は中国、米ハワイ、台湾を訪問し、国内外からウチナンチュウが集い交流する政策をとっています。台湾有事を起させないシンポジウムを行い、世界ウチナンチュウセンター開設の準備を行なっています。日本政府もアメリカ言うなり出なく平和外交を進めるべきで

討論では岐阜市ノ「日野射撃場を撤去し公園にするみんなの会」の報告がありました。

日野射撃場は戦後、都市計画公園（日野公園）として決定しており歴代の市長・上松市長・時田市長は一貫して公園化するため防衛施設庁に譲渡を申請しています。今市長はあいまいな答弁で態度がはつきりしません。

一二〇二三年六月、自衛隊員三人が銃撃により死傷した事件が起き「射撃場を撤去し、公園化する」運動が起こっています。そのほかにも九条の会、日中友好協会、原爆の絵を学校や農協などで展示を行なつている報告がありました。

全体会のオープニングで中津川年金者組合の合唱団「満天星」の合唱、子ども達の素晴らしいダンスが披露されました。

記念講演は「海の中から地球が見える（気候危機と平和危機）」と題してプロダイバー武本匡弘氏のお話がありました。四〇年間世界の海を潜り、撮影した映像とお話は面白くよく分かりました。

最初の一〇年間は何処の海を潜つても豊かな素晴らしい海を見ましたが、後の一〇年は温暖化により海が砂漠化しワカメ、ヒジキ、昆布が無くなり、魚もいなくなる様を見てダメイバーの会社を譲つて環境活動家になりました。イルカショリーは人が喜ぶよう擬人化させている。人は魚を食べつくしてしまった。

ベトナム戦争での枯葉剤の余りを除草剤として農薬に使い、ゴルフ場で使う除草剤が海上に流れ込み海草が無くなり魚もいなくなった。砂浜の砂をコンクリートに使い世界中のビル、道路が砂で出来ている。

戦闘行為で無くなつたビルは再び砂で作る。砂浜にはプラスチックの粉が堆積し、海はプラスチックのジュースです。温暖化での海面上昇が砂浜を無くしている。

軍事基地による環境破壊は膨大なエネルギーが必要です。

核実験で空いた穴に汚染された灰や残骸を埋め、コンクリートで蓋をしたマーシャル諸

島の放射線はフクシマ周辺の一〇〇〇倍の汚染が観測されている。

原発による海水での冷却は海水温を高めている。

原発にミサイルを一発撃てば日本中放射能拡散になる。戦争は最大の環境破壊である。「平和に向つて吹く風をつかめ」と。写真を載せた本もよく売れていました。

